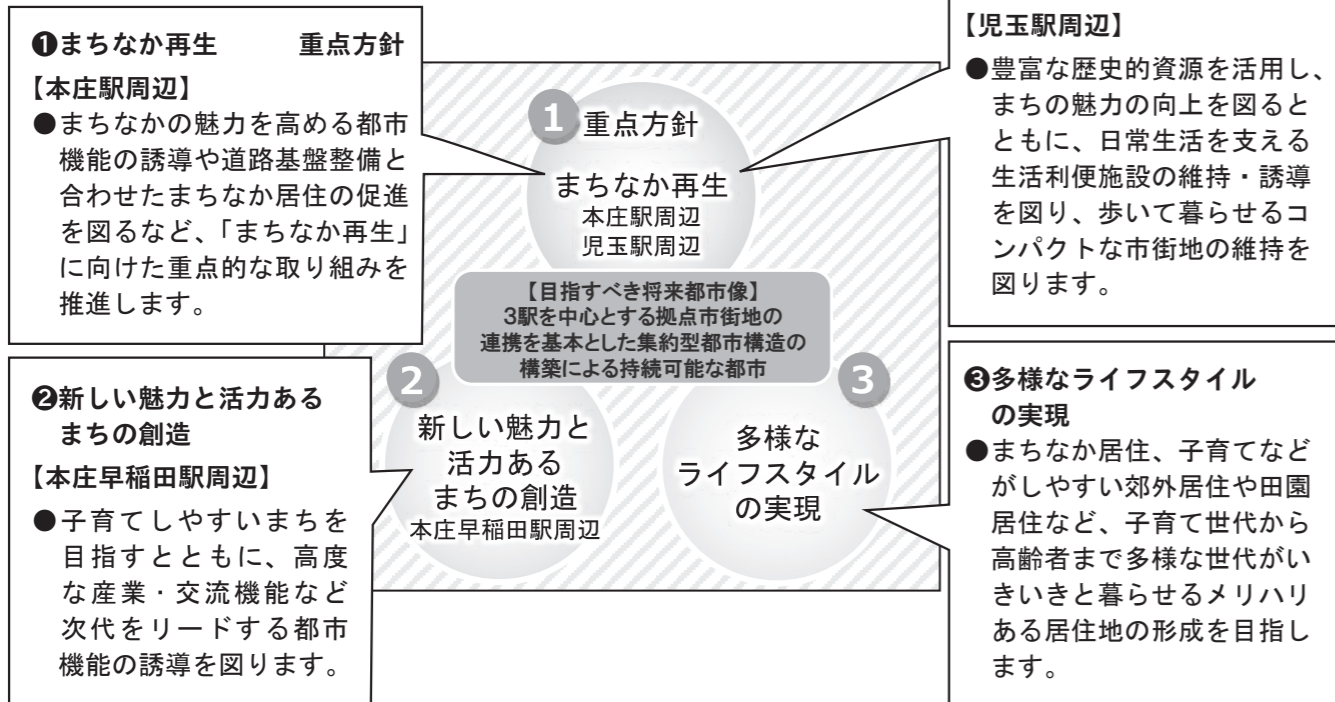
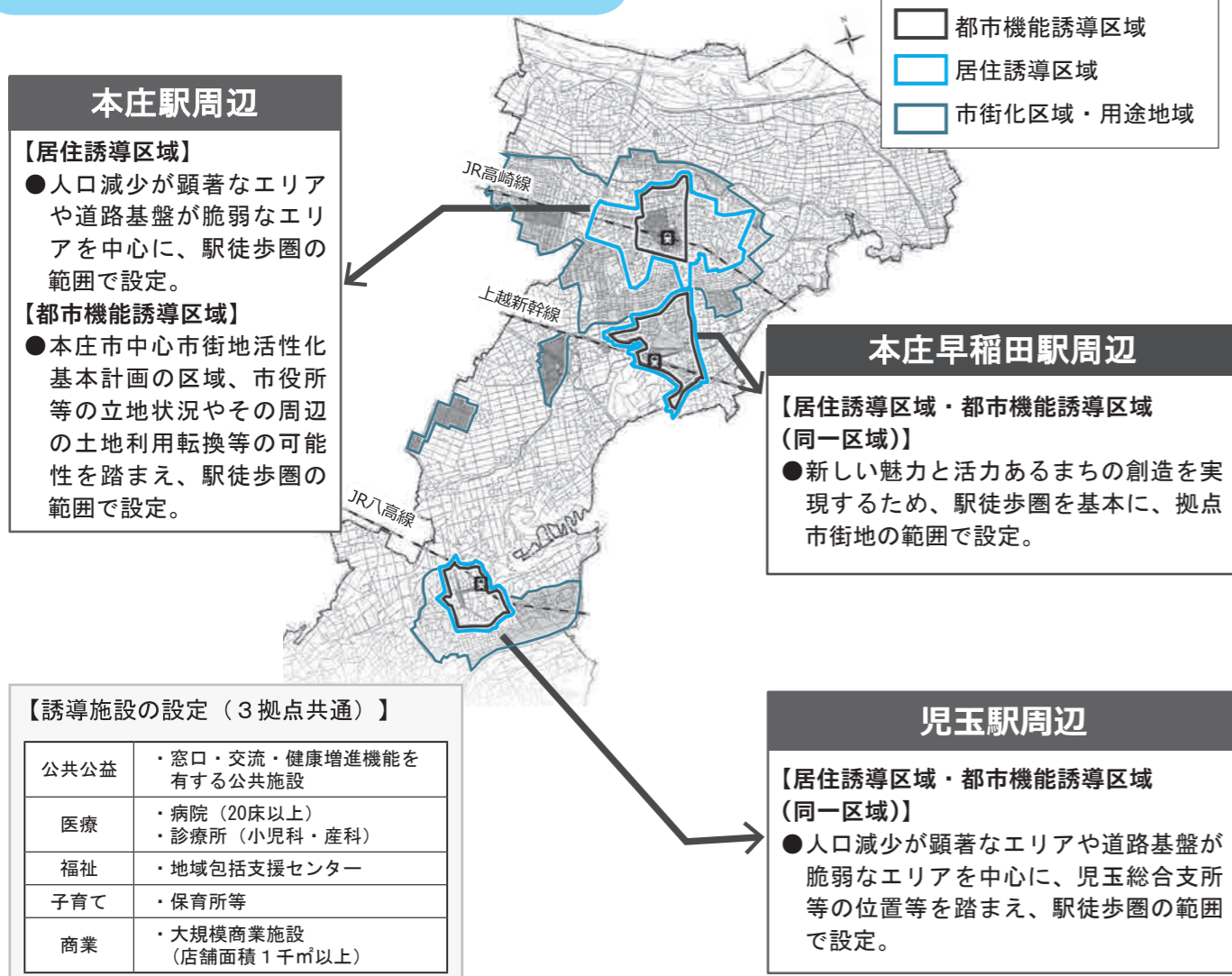


計画の基本的な方向性



居住誘導区域・都市機能誘導区域・誘導施設



「本庄市立地適正化計画」を策定しました

★都市計画課 ☎ 1136

本庄市では、将来の都市像を見据えたまちづくりを進めるため、「本庄市立地適正化計画」を策定し、3月31日に公表しました。これにより、「広報ほんじょう」1月号でお知らせしました「届出制度」がスタートします。

今月の「広報ほんじょう」では、計画の概要を説明します。また、まちの課題解決に向けたさまざまな取り組みを次号で紹介いたします。

立地適正化計画のイメージ

立地適正化計画は、居住や都市機能の誘導を図る区域を設定し、これらを誘導するための施策等を定めることにより、持続可能な都市へと緩やかに誘導していく制度です。



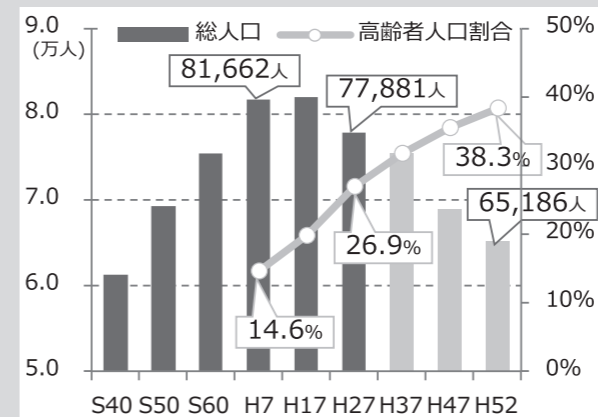
立地適正化計画はなぜ必要なの？

本庄市は、高度経済成長期以降の人口増加に対応するため、計画的な市街地整備により市街地を拡大してきました。

一方で、平成12年（国勢調査ベース）をピークに市の人口は減少に転じており、特に既成市街地（まちなか）においては、人口減少・高齢化の進展が顕著であり、空き家や空き店舗、低未利用地の増大など、さまざまな問題が顕在化しています。

このまま既成市街地が衰退した場合、本庄市を形づくる歴史、文化といったまちの顔の喪失や魅力の低下につながります。このようなことを踏まえ、立地適正化計画の策定を通じて「まちなか」の課題解決に向けて重点的に取り組む必要があります。

将来人口と高齢化の見通し



まちなかの人口増減率

